

# 大神子だより

平成30年7月発行  
医療法人道志社  
リハビリテーション大神子病院  
広報部 作成



**病院理念** ときに治し、しばしば慰め、常に癒す

**基本方針** 私たちスタッフ一同は

1. よりよい医療・看護・介護サービスと、効果的なリハビリテーションを提供し、患者さまの生活の質の向上と自立への支援をいたします。
2. 患者さま、ご家族さまの立場に立ち、やさしさ、暖かさに満ちた、やすらぎのある病院作りをいたします
3. 地域の医療機関・介護福祉施設・在宅(家庭)との連携を密にし、患者さま、ご家族さま、地域の方々の信頼を得られる病院作りをいたします。

回復期リハビリテーション病棟入院患者様作品「ひまわり」



## 熱中症予防について

今年も本格的な暑さがやってきます。温暖化の影響もあり、近年、熱中症患者は増え続けています。

熱中症は暑い環境で体温が上がり、汗をかいて身体の中の水分や塩分が失われることにより生じます。めまいや立ちくらみ、足がつる、汗が止まらない、発熱などの症状がみられ、重症化すると意識障害が生じ、死にいたることもある怖い病気です。どの年齢の方でも熱中症を発症する可能性があります。若い方は暑い屋外で、高齢者は家の中での発症が多いことが特徴です。高齢者は気温が高くなっても生活パターンを変えないことが多く、熱中症が重症になるまで気づかない傾向があります。

熱中症を予防するための大原則は、気温や湿度に気を配り、暑いと思ったら無理をしないことです。

気温が31度を超えると熱中症は急激に増加傾向になります。移動や屋外での作業は涼しい時を選び、長時間過ごす家の中でも涼しい環境を作りましょう。室内に温度計を置いてチェックしてみてください。室温28度前後を保つように、エアコン等を積極的に使用しましょう。そして喉の渇きを感じる前に、習慣的にこまめに水分を取ることが大切です。

以上のことに気をつけるとともに、日常的に運動し汗をかくことも熱中症予防には有効と言われています。無理をせず、水分に加えて塩分の補給も行いながら、1日1回の軽い運動を行うこともおすすめです。

内科医 岸昌美

# 給食課



給食課は「患者様の“生きがい”と“治療意欲”の向上をサポートできるような食事提供を目指します。」の理念の下、管理栄養士3名、調理師16名、総計19名で食事提供を行っております。主食は、全粥・軟飯・普通食と3種類に分かれています。患者様の状態に応じて重湯・3分粥・5分粥・7分粥も提供しております。副食も普通食・みじん食・ペースト食と患者様の咀嚼、嚥下機能に応じた食形態や病状にあわせた潰瘍食、塩分コントロール食、脂質コントロール食、エネルギーコントロール食、タンパクコントロール食、流動食、検査食等を提供しており食事の面から患者様のサポートに努めております。また、行事食にも力をいれており、年に5回食堂でバイキングを開催するなど患者様、ご家族様に喜んで頂けるよう給食課一丸となって頑張っております。栄養相談も行っておりますので、気軽にお声かけ下さい。



給食課スタッフ



普通食



バイキング食デザート



ペースト食

食事で気になっていることはありませんか？

**栄養相談**を実施しています

栄養士がひとりひとりの生活スタイルに応じた食事についてアドバイスをさせていただきます。ご希望の方は事前に事務所までお申込み下さい。

- ※ 所要時間は30分程度です。
- ※ 相談日は火曜～金曜日の14時から16時までとなっております。



## リハビリテーション部通信

### 「生きることへの支援～食事・排泄～」研修会参加報告

平成30年6月30日、7月1日の2日間、美馬市の介護老人保健施設やすらぎ荘にて、北海道士別市立病院医師の澤口裕二先生の研修会が開催され、当院リハビリテーション部スタッフが参加してきました。

澤口先生は北海道士別市で医師として勤務する傍ら、ドイツからキネステティクスを日本に紹介された方です。生理学、解剖学、進化発生学、運動学、心理学、教育学等さまざまな観点から患者様や施設に入居されている人々の診療、動きの支援に取り組まれています。研修会では「生きることへの支援～食事・排泄～」と題し、人の身体の構造や食事、排泄時の動きを進化発生学から説明し、人が楽に動くためにはどこを介助すれば(助ければ)よいかを受講者それぞれが体験しながら学習を進めていきました。途中、さまざまな動画やロボット、骨格モデルを使用しながらの講義は大変わかりやすく、参加したスタッフ全員が楽しく学ぶことが出来ました。私達作業療法士、理学療法士は、病気や怪我により心身に障害を持った方々の支援をさせていただいています。痛みの原因や運動麻痺等の機能障害を治療するとともに、今より少しでも楽に、痛みが少なく動けるよう、動き方の提案や支援、介助を提供しています。身体が思うように動かない、痛みがあり動き辛いという方やご自宅でご家族を介助しているが、どのように介助すればいいのかお悩みの方はいつでもご相談下さい。



「安楽な呼吸の為のポジショニング」



「全員での集合写真」



「骨格標本を用いての立ち上がり」

## 回復期リハビリテーション病棟 書道クラブ

回復期リハビリテーション病棟では入院患者様を対象に、毎週木曜日に書道クラブを開催しています。書道師範の位を持つ作業療法士を中心に、作業療法士と入院患者様と一緒にその時々を半紙に書いていただいています。

時には、事務職員、管理栄養士やソーシャルワーカーなど他の病院職員も患者様と一緒に楽しく書の時間を共有しています。お見舞いに来られたご家族様もぜひ一緒に書の時間を楽しみましょう。



## 視線入力装置デモンストレーション&勉強会

リハビリテーション部では小松島病院作業療法士の加藤雄太さんによる視線入力装置のデモンストレーションと勉強会を開催いたしました。病気や怪我により重度障害をきたし手足を動かすことができない方でも視線の動きでパソコン操作ができる装置が開発されています。以前は大変高価なものでしたが、現在は入手し易く、操作方法も簡単になっております。入院患者様だけでなく、ご自宅で生活されている方にも訪問リハビリテーションのご利用で提案させて頂く事が出来ますので、ご興味のある方はいつでもご相談下さい。

視線入力装置:Tobii Eye Tracker 4C



# 小松島世代間交流健康センター介護予防教室のご案内

平成30年4月より小松島市中田町の小松島世代間交流健康センターにて当院リハビリテーション部スタッフによる地域住民の皆様の健康増進を目的とした介護予防教室を月2回開催しております。ぜひご参加下さい。

### 平成30年度第8回介護予防教室

日時：平成30年7月26日（木）13:00～14:30

会場：小松島世代間交流健康センター 抱撲の里

内容：「いきいき100歳体操」「糖尿病について」

対象：小松島市民

### 平成30年度第9回介護予防教室

日時：平成30年8月16日（木）13:00～14:30

会場：小松島世代間交流健康センター 抱撲の里

内容：「いきいき100歳体操」「転倒予防について」

対象：小松島市民

※ 両日とも動きやすい服装で水分補給用の飲み物、タオル等をご持参下さい。

※ お申込・お問合せ先：特定非営利活動法人 グローバルネットワーク

Tel：0885-38-6700



## 日本医療社会福祉協会全国大会に参加して

6月15日～17日に第66回日本医療社会福祉協会全国大会が香川県サンポート高松で開催され、当院の地域連携室医療ソーシャルワーカー（MSW）が参加いたしました。

今年度は診療報酬と介護報酬の同時改定があったため、改訂に伴ってMSWが対応した報告や職業生活と治療の両立支援に対しての企業側の取り組みについての発表やシンポジウムがありました。その中でも人生の最終段階における意思決定支援の中でMSWに期待されていることが印象に残りました。

当院でも退院先の決定や栄養摂取の方法、治療方針等患者様、ご家族様が選択を迫られる場面は多くあります。自分が当事者だとすると選択できるのだろうか、選択までの道のりを悩み、迷い、揺れるのではないだろうか。終活ジャーナリストでライフ・ターミナル・ネットワーク代表の金子稚子氏（ご主人は流通ジャーナリストの故金子哲雄氏）の下には患者様が「MSWは病院の手先だった」と言いながら相談に来られたケースがあったと話され、衝撃を受けました。私たちMSWは日常の業務の中では時間や医療制度上で決められた様々な制約の中で動く必要がありますが、患者様、ご家族様の強みに着目し課題を共有できるMSWでありたいと改めて感じる事ができました。



## 院内研修報告「医療ガス講習会」

平成30年5月16日（水）に（株）北島酸素の方を講師としてお招きし、医療ガス（酸素ボンベ取り扱い）講習会を開催いたしました。

当院では、事務部・看護部・介護課・リハビリテーション部と多くの部署、スタッフが酸素ボンベの取り扱い携わるため、安全な取り扱いが徹底され、事故を予防できるように定期的に講習会開催しております。



# ショートステイ大神子通信：七夕飾り “天の川” ☆☆



ショートステイ大神子では施設内に七夕の飾り付けをしています。ホールの天井いっぱい天の川を表現しています。季節毎に趣向を凝らした飾りを利用者様と職員と一緒に作成しています。お越しの際はぜひご覧下さい。

## 通所リハビリテーション通信：紫陽花アート



通所リハビリテーションでは利用者様同士で協力していただき、3種類のあじさい（お花紙アート）を完成させました。4月中旬から制作に取り組み始め、約2カ月間かかりましたが素晴らしい作品になりました。

完成した作品はお花紙を丸めた団子がきれいに並び繊細さが感じられ、色鮮やかなあじさいが表現されています。通所リハビリテーション室前の廊下に飾っていますので、来院された際には是非ご覧下さい。

## “大神子納涼夏祭り” 開催のお知らせ

日時：平成30年9月1日（土）18:00～

会場：大神子病院駐車場

かき氷、フライドポテトにやきとり等の夜店に有名連の阿波踊り  
大神子海岸からの盛大な打ち上げ花火等、盛りだくさんのプログラム  
をご用意しております。

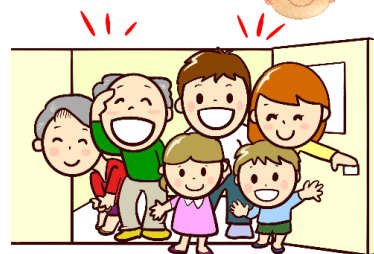
多くの皆様のご来場をお待ちしております。





# 夏休み ボランティア体験!!

# キッズボランティア 活動参加者大募集!!



## 日時・活動内容

平成30年7月25日（水）フラワーアレンジメント

平成30年8月 8日（水）俳句

平成30年8月22日（水）フラワーアレンジメント

13:30～15:30の2時間を予定しています。

活動場所：リハビリテーション大神子病院

参加対象者：小学生～高校生（小学生は保護者同伴での参加となります）

申し込み：開催日前日までにNPO法人教育倫理プラザまで

問い合わせ：090-7140-6089（桶木）

## 日本医療機能評価機構認定病院 リハビリテーション大神子病院

院長 吉田成二

徳島市大原町大神子19番地

TEL：088-662-1014

<http://www.doushisya.jp/>

診療科目：内科・外科・整形外科

リハビリテーション科

診療時間：平日 午前9時～午後5時

土曜 午前9時～午後12時30分

※ 日曜、祝日、年末年始は休診です。

面会時間：午前8時～午後8時

入院病棟：回復期リハビリテーション病棟:40床

医療療養病棟:60床

介護療養病棟:52床

介護医療院：19床（平成30年4月1日開設）

通所リハビリテーション：定員40名

訪問リハビリテーション

◎入院等ご相談窓口：地域医療連携室（入院相談や施設見学、随時受付しております。）

※ 最寄のバス停（大神子口）・JR駅（中田駅）までの送迎を行っております。

ご希望の方は病院受付、もしくはお電話でお申し付け下さい。

送迎対応時間：午前9時～午後5時（日曜・祝日は除きます。）



外来診療担当医師(内科)						
	月	火	水	木	金	土
午前	吉田	阿部	川口	北室	川口	木村
午後	岸	阿部	川口	北室	阿部	

回復期リハビリテーション病棟担当医			
内科	相原・土屋		
整形外科	竹内(月・木)	寺前(火)	田村(水・金)
脳神経外科	岡(水)		

病棟・介護医療院担当医	
医療療養病棟	阿部・岸(内科)・松島(整形外科)
介護療養病棟	木村・佐々木(内科)・松島(整形外科)
介護医療院	北室・先川(内科)